

国

北海道地球温暖化対策推進計画

削減目標の内訳

(現計画目標値) (新計画案目標値)

- 森林 2,780 → 3,800
  - 農地土壌、都市緑化 910 → 970
  - ● ● メタン、N<sub>2</sub>O、代替フロン等 1,550 → 2,420
  - 非エネルギー起源CO<sub>2</sub> 510 → 1,230
- (参考)
- 二国間クレジット(JCM) 累計100

エネルギー起源CO<sub>2</sub> 30,800 → 55,500

産業部門	2,800 → 17,300
業務その他部門	11,100 → 11,800
家庭部門	7,900 → 13,800
運輸部門	6,200 → 8,400
エネ転部門	2,800 → 4,600

「エネルギー基本計画」

○2030年エネルギーミックス

再エネ	22~24% → 36~38%
水素・アンモニア	1%
原子力	20~22% → 20~22%
LNG	27% → 20%
石炭	26% → 19%
石油	3% → 2%

排出係数(エネルギーミックス達成時)  
0.37 → 0.25 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

○省エネ効果

0.5億kℓ(原油換算)の削減  
↓  
0.62億kℓ(約18%の深堀り)

単位：  
(万t-CO<sub>2</sub>)

国の新目標  
46%削減

国の現行目標  
26%削減



単位：  
(万t-CO<sub>2</sub>)

道の目標  
35%削減



削減目標の内訳

(目標値)

- 森林 480  
(道)「森林吸収源対策推進計画」目標値  
(国の目標値を吸収量実績で按分)
- 農地土壌、都市緑化 277  
(国の目標値を吸収量実績で按分)
- ● ● メタン、N<sub>2</sub>O、代替フロン等 90  
(国の目標値を関連する統計値で按分)
- 非エネルギー起源CO<sub>2</sub> 21  
(国の目標値を関連する統計値で按分)

エネルギー起源CO<sub>2</sub> 1,683

「省エネ・新エネ促進行動計画」

○新エネルギー導入量  
(電気(道内分)、熱)  
【CO<sub>2</sub>換算で 571 万t-CO<sub>2</sub>】

2030年度目標値：新エネ導入量  
※道外移出分を除く

発電電力量	14,998 百万 kWh (8,611 百万 kWh)
熱利用量	20,960 TJ (14,713 TJ)

カッコは2018実績

排出係数 0.678 kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
(基準年(2013年度)の北海道電力(株)の値)

○省エネ効果(エネルギー消費原単位)  
【CO<sub>2</sub>換算で 1,113 万t-CO<sub>2</sub>】

2030年度目標値：エネルギー消費の削減

産業部門：生産額あたり	年1.0%削減
業務部門：オフィス床面積あたり	年1.0%削減
家庭部門：世帯あたり	年1.5%削減
運輸部門：自動車1台あたり	年2.0%削減

新たな目標設定に向けた考え方

「森林吸収源対策推進計画」の目標値と整合。  
吸収・固定量を維持し、増加につなげる道独自の対策等を検討中。

国温対計画の対策・施策ごとの目標値から各種統計値を用いて道内分を按分。

「省エネ・新エネ促進行動計画」の目標値と整合。  
国の新たなエネルギー基本計画の内容を踏まえ、取組や目標の見直しについて検討中。

省エネ・新エネ促進行動計画の削減量及び国対策・施策による削減量を踏まえ、温対計画の削減目標を設定。